



全国的な小児科医不足が続く中、「こども救急ガイド」を活用することによって、子どもたちの健やかな成長と保護者の不安軽減を図ることはもちろんのこと、適正受診の推進や医師の勤務環境改善等も図ります。



新しい先生ようこそ私たちの町へ



泌尿器科医師
杉田 智



泌尿器科医師
松下 良介



整形外科医師
齋藤 嘉信

お医者さん歓迎会

平成 24 年 5 月 11 日にホテル プラザ に於いて、小林市立病院に新しく着任された整形外科 齋藤 先生、泌尿器科 松下 先生、杉田 先生、智 先生 3 名のお医者さんの歓迎会を行いました。

始めに伊藤 正一 会長より、『ようこそ花と星とホテルのまち小林市へ』この町のお医者さんになっていただきありがとうございます。とのお礼の言葉がありました。

また、小林市立病院の坪内 齊志 院長から、『このような歓迎会を開いていただき誠にありがとうございます。』とお礼のあいさつを頂き、徳田 浩喜 診療部長より、3 名の医師の紹介をしていただきました。そのあと、会員から花束と缶バッチの贈呈を行いました。

お医者さんとお酒を酌み交わしながら交流し、お話を聞くことができ、今後の活動をますます盛り上げていきたいと感じました。

7 月より整形外科 齋藤 先生、泌尿器科 松下 先生、杉田 先生、智 先生 3 名の医師の後任に齋藤 嘉信 先生が着任されました。



お医者さん歓迎会 平成 24 年 5 月 11 日の風景



ちょこっ〜と聞いてくんないよ

地域医療コラム

7 月 9 日 (月) めでたく、41 歳の誕生日を迎えることができました。6 月 12 日 (火) から 17 日 (日) 宮医大に入院して、一ヶ月過ぎようとしています。入院した経緯は、月 1 回の血圧の薬をかりつけ医の病院に処方してもらったために行った事がきっかけでした。脈拍が 180 もあり、心電図をとってもらい、紹介していただいた病院にすぐ行くことになりました。(しかも看護師さんの運転で・・・) 症状が自分ではわからなかったもので、何が起きているのかよく理解できませんでした。紹介いただいた病院でさらに検査。診断の結果「発作性上質性頻拍」とのこと。さらに手術ができる宮医大を紹介していただきました。すぐに入院することができました。入院といっても自分の誕生以来の入院。不安と当たり前のことを感じていた健康のありがたさを痛感しました。入院中は、病室には私も含めて 4 人の患者さん。手術して 4 日間食事をとれず、少しいららしている患者さん。仕事に気になっていつ退院できるか質問している患者さん。どの患者さんにも心配で見舞いに来ている家族や友人がいて、日々の体調をこまめに見に来る看護師さんや先生、精神面や体調面を多くの方にささえて生きていることを感じました。入院をしたことで、少しは先生や看護師さん

んの気持ち、患者の気持ちをアルに考えさせられました。かなりつけ医のおかげで、色々な方々のおかげをいただき、今健康な体で、家族に誕生日を祝ってもらったことができました。ちなみに誕生日のプレゼントは、「たまには一人でゆっくろお風呂に入れる券」「お肉をガッツリ食べた券(毎日使えます)」と但し書き「早くお母さんの機嫌が直ってほしいとくに使う券」もうひとつあるのですが、公では恥ずかしくて書けませんが個人的に聞いてくれた方にお話ししたいと思っています。健康、生きてるってほんとに重要です。楽しいですね。



事務局長 山下 浩司

